

第3章 公共下水道事業の現状

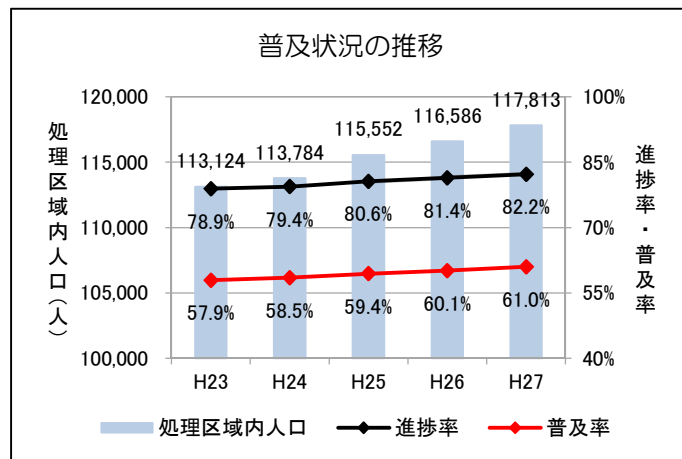
1 汚水処理の普及状況

(1) 普及状況

現在、公共下水道は未普及地域の整備を進めており、処理区域内人口は増加を続けています。
進捗率は類似団体平均値（93.6%）より低い82.2%となっており、類似団体に比べると公共下水道の整備が遅れています。なお、普及率は61.0%となっています。

※ 進捗率…全体計画人口に占める処理区域内人口の割合で、事業の進捗状況を表す指標です。

※ 普及率…行政人口に対して、公共下水道を利用できる市民の割合を表す指標です。

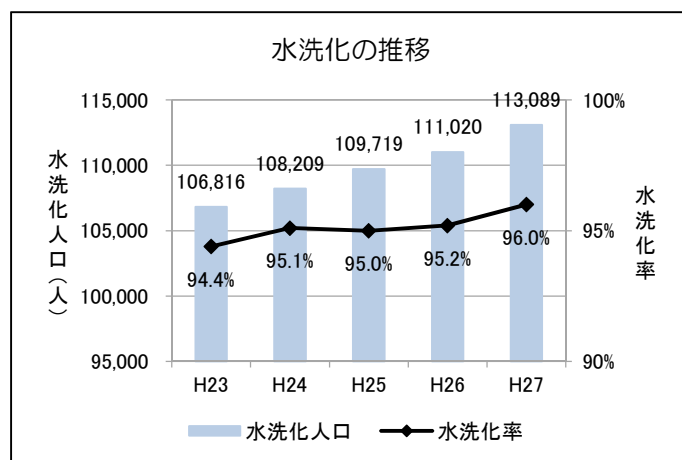


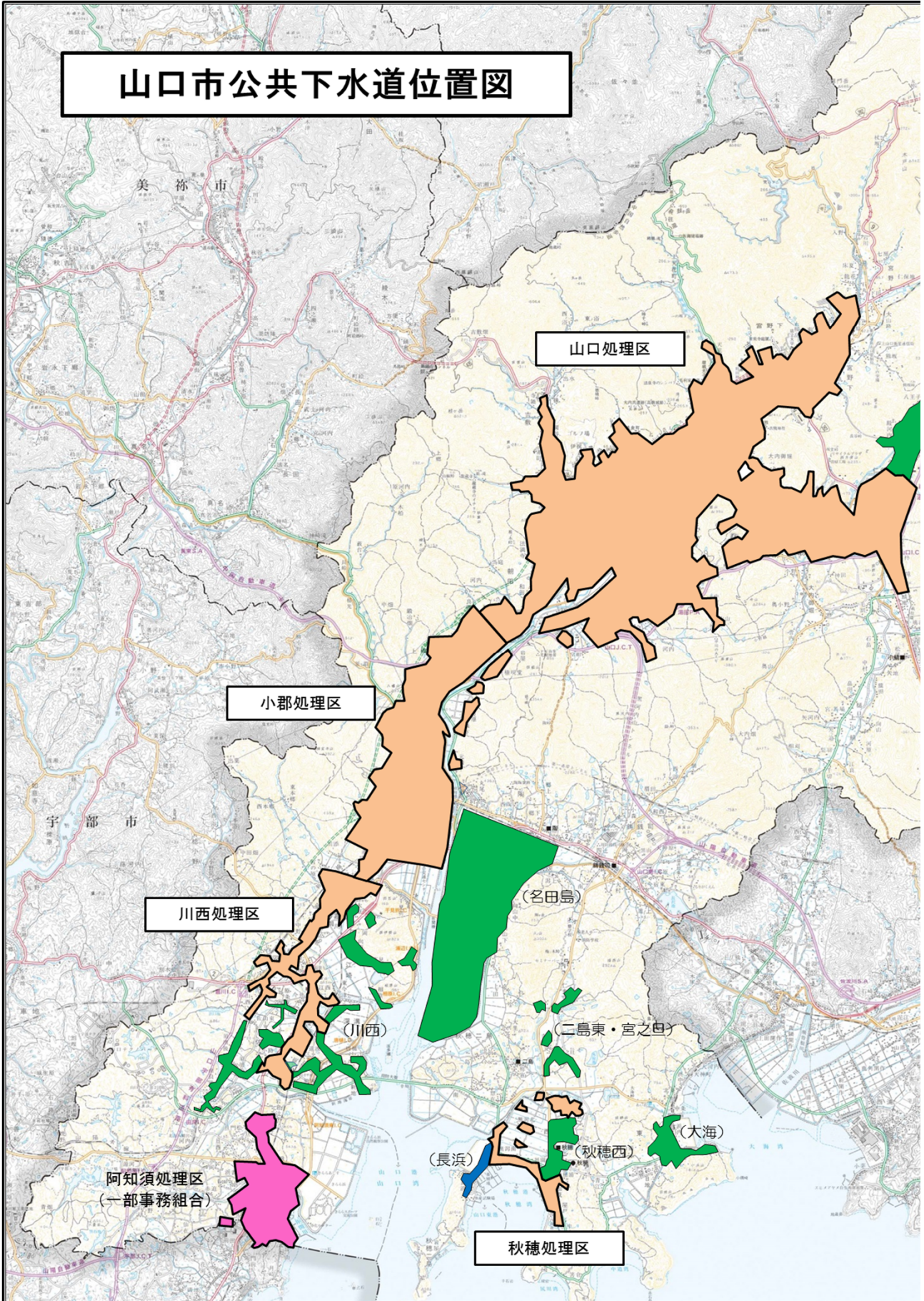
(2) 水洗化の状況

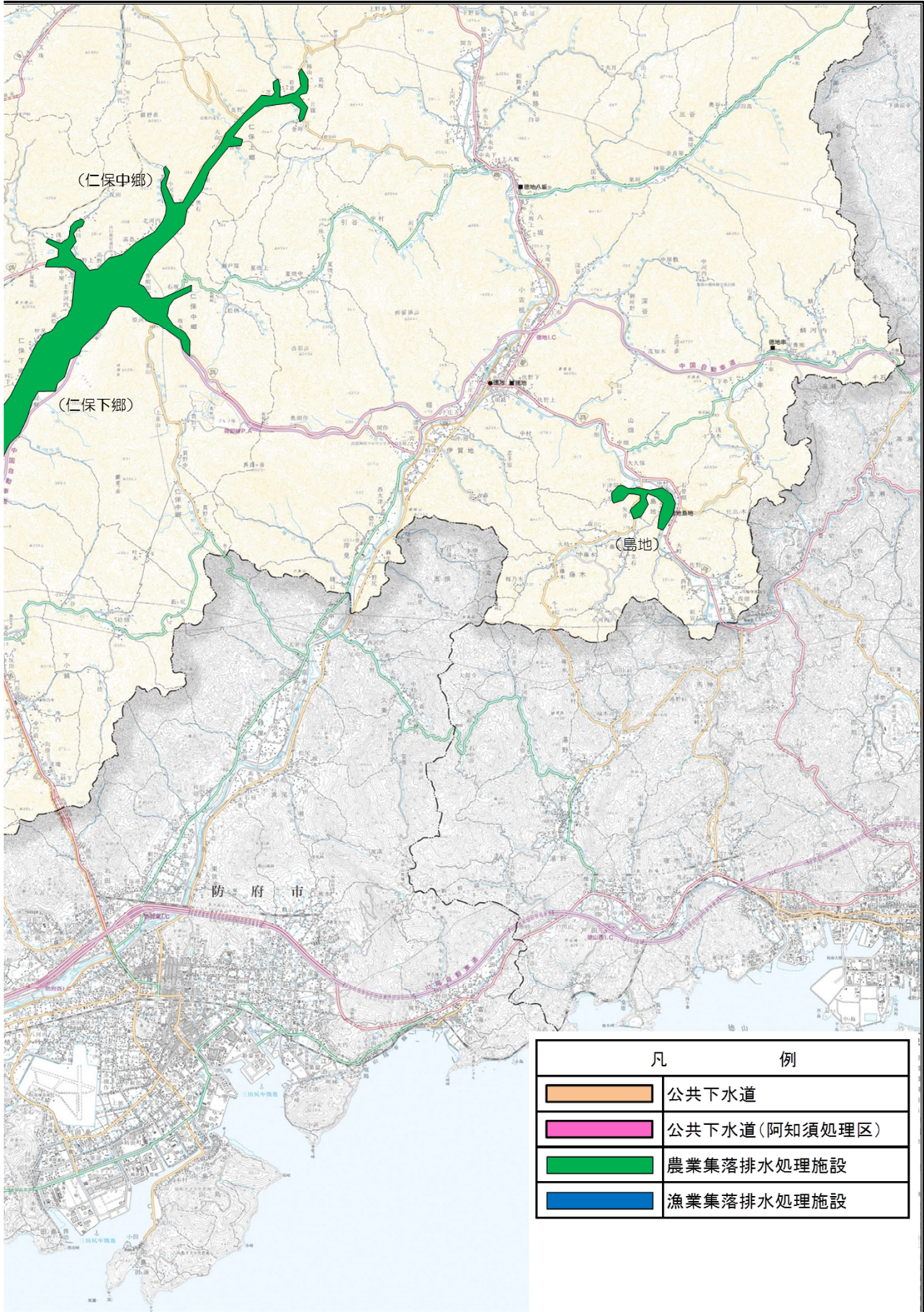
水洗化人口は増加を続け、水洗化率は類似団体平均値（93.1%）より高い96.0%となっており、類似団体に比べると処理区域内の公共下水道への接続は進んでいます。

※ 水洗化人口…処理区域内に居住している人のうち、公共下水道に接続している人数を表しています。

※ 水洗化率…処理区域内人口に対して、公共下水道に接続している人の割合を表す指標です。







(3) 山口処理区

山口処理区は、快適な都市生活の確保と、樫野川及び瀬戸内海の水質保全を目的として、昭和48年に事業着手し、昭和56年に供用開始しました。供用開始からおよそ35年が経過しています。

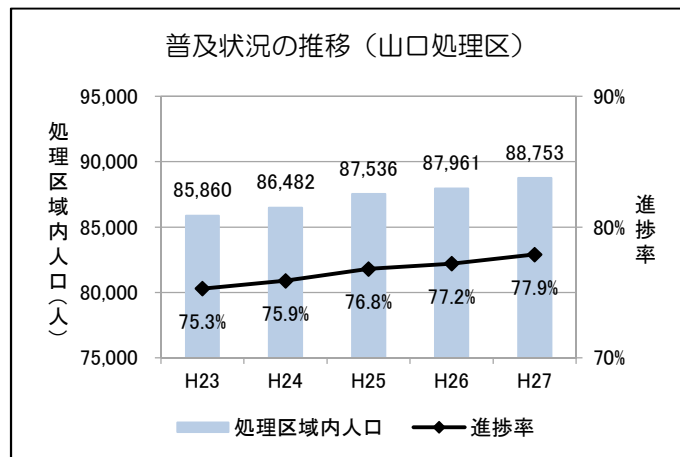
供用開始	処理区域面積	処理区域内人口	水洗化人口	水洗化率
昭和56年12月	2,341ha	88,753人	85,390人	96.2%

① 普及状況

未普及地域のうち、事業計画区域として宮野地区、吉敷地区及び大内矢田地区などの整備を進めています。また、大内長野地区、大歳地区の一部及び平川地区の一部などの整備が未着手であり、進捗率は77.9%となっています。

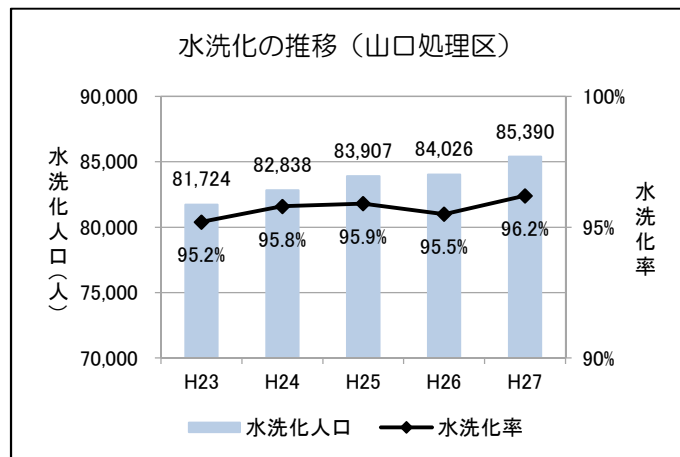
※ 事業計画区域…全体計画区域のうち、国の認可等を受け、実際に事業を進めている区域をいいます。

※ 全体計画区域…公共下水道の整備を計画している区域をいいます。

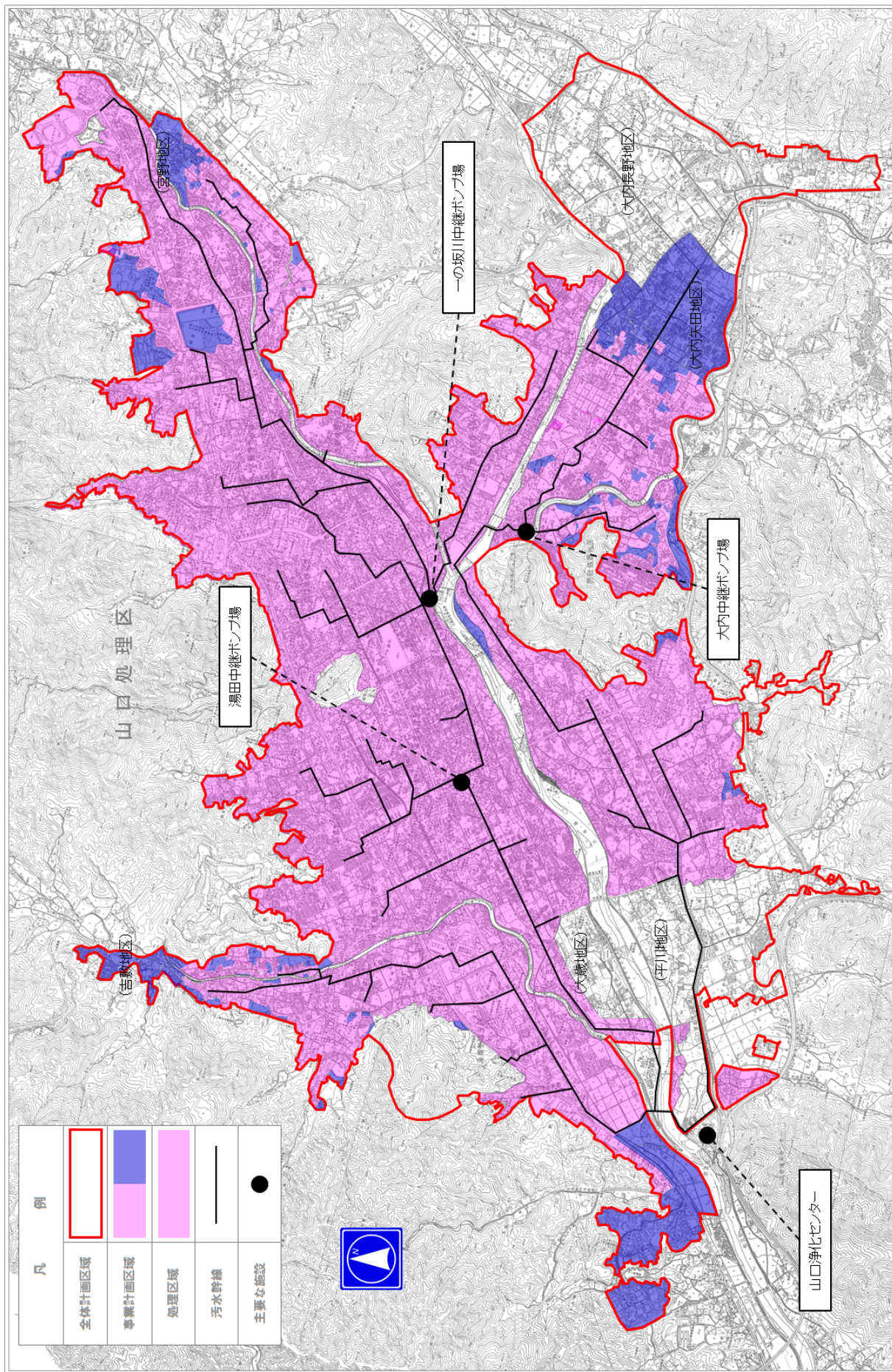


② 水洗化の状況

事業の進捗に伴い水洗化人口は増加しており、水洗化率は96.2%となっています。



山口市公共下水道事業 計画区域図 (山口処理区)



(4) 小郡処理区

小郡処理区は、昭和30年から浸水対策として合流式下水道で事業着手、昭和42年に供用開始し、その後、分流式下水道を加えて整備を行ってきました。供用開始からおよそ50年が経過しています。

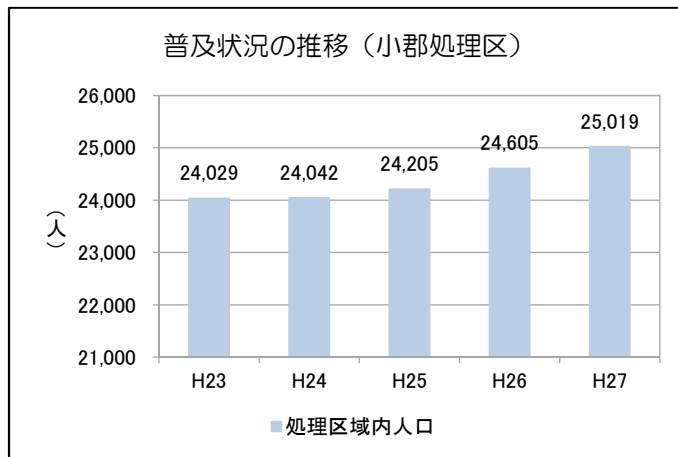
古くから整備を行ってきた新山口駅北側の市街地部は、合流式の区域となっています。合流式は、大雨時には処理しきれない下水を未処理の状態で放流してしまうことがあるため、平成22～25年度にかけて合流改善事業を実施し、公共用水域の水質改善を図りました。

※ 合流改善事業…合流管に流れ込む雨水量を軽減するための雨水分離側溝や、処理場の放流水水質改善のための高速ろ過施設の建設などを行いました。

供用開始	処理区域面積	処理区域内人口	水洗化人口	水洗化率
昭和42年8月	761ha	25,019人	24,574人	98.2%

① 普及状況

小郡処理区の未普及地域は、平成28年度末でほぼ解消する予定です。



② 水洗化の状況

事業の進捗や人口増加に伴い水洗化人口は増加しており、水洗化率は98.2%となっています。

